



## 北海道むかわ町穂別から白亜紀末の新種アンモナイト

### アナゴードリセラス・コンプレッサムを発表

#### 研究成果のポイント

- ・白亜紀末マーストリヒチアン期最前期（約 7, 200 万年前）の地層から新種のアンモナイトを発見し、アナゴードリセラス・コンプレッサムと命名した。
- ・新種アナゴードリセラス・コンプレッサムはアナゴードリセラス・マツモイの祖先種にあたり、一連の進化は北西太平洋地域でおきたと考えられる。

#### 研究成果の概要

北海道むかわ町穂別地域（図 1）の白亜紀末（マーストリヒチアン期最前期、約 7, 200 万年前）の地層（蝦夷層群函淵層）からアナゴードリセラス属アンモナイトの新種が発見され、これを報告した重田康成先生（国立科学博物館研究主幹）と西村智弘（穂別博物館学芸員）による論文が 7 月 1 日発行の日本古生物学会欧文誌 Paleontological Research（パレオントロジカル・リサーチ）から公表され、この中で、新種アンモナイトは *Anagaudryceras compressum* Shigeta et Nishimura sp. nov.（アナゴードリセラス・コンプレッサム、図 2）と命名されました。

穂別博物館収蔵資料で、新種に指定されたアンモナイトとしては 3 例目で、アンモナイトを含む古生物としては 8 例目です。

この論文で新種の基とした模式標本は、穂別博物館収蔵資料 6 個体〔博物館設立以前に旧穂別町職員によって採集された標本。田中源吾先生（九州大学特任准教授）、大和治生先生（札幌市西宮の森小学校教諭）、西村智弘（穂別博物館学芸員）の寄贈標本〕と国立科学博物館収蔵資料 4 個体（川下由太郎氏コレクション）の計 10 個体です。

アナゴードリセラス属アンモナイトは、白亜紀中ごろのアルビアン期中期（約 1 億 500 万年前）から白亜紀末のマーストリヒチアン期（約 6, 600 万年前）にかけて世界中の地層から産出します。殻の直径が約 10 cm を超える種類が多く、特に成長後期の殻に S 字状の肋（殻装飾の凹凸）が発達することの多いアンモナイトです。



図 1：むかわ町穂別の位置図



図 2. アナゴードリセラス・コンプレッサムの完模式標本

アナゴードリセラス属は北海道を含む北西太平洋地域では、よく知られているアンモナイトの一つで、その研究は100年以上前から行われています。しかし、カンパニアン期後期とそれに続くマーストリヒチアン期前期のものは、産出例が少ないため、ほとんど研究が行われてきませんでした。

むかわ町穂別地域（図 1）には、マーストリヒチアン期前期の地層が広く分布しているので、この時代のアンモナイトについて明らかにする上で非常に重要な地域です。本研究では、主に穂別地域から産出した標本を用いて行いました。世界中で報告されたアナゴードリセラス各種の標本と比較を行った結果、穂別産のものは他のどの種よりも螺管幅（図 2 写真右の左右の幅）が薄い点で異なり、新種であることが分かりました。また、これは、北西太平洋地域では唯一の最前期マーストリヒチアン期のアナゴードリセラス属であることが明らかになりました。

北西太平洋地域の後期カンパニアン期のアナゴードリセラス属については、情報が少なく、研究が十分に進められていません。そのため新種アナゴードリセラス・コンプレッサムの祖先種については不明です（図 3）。

一方で、新種アナゴードリセラス・コンプレッサムの特徴である小型で、成長後期の殻に、低いバ

ンド状の肋が発達する特徴がマーストリヒチアン期後期の *Anagaudryceras matsumotoi* アナゴードリセラ・マツモトイと共通しています。そのため、両者は祖先—子孫関係にあると考えられます。アナゴードリセラ・マツモトイは、北西太平洋地域（サハリン、北海道、淡路島から産出）に固有の種類であることから、おそらく新種アナゴードリセラ・コンプレッサムからアナゴードリセラ・マツモトイが北西太平洋地域で進化したものと考えられます。（図3）。

この研究によって、一つのアンモナイトの起源が明らかになりました。この時代における他のアンモナイトをはじめとした海生の古生物の起源や分布域変遷がさらに明らかになることで、当時の海洋環境の変遷などの解明が期待されます。

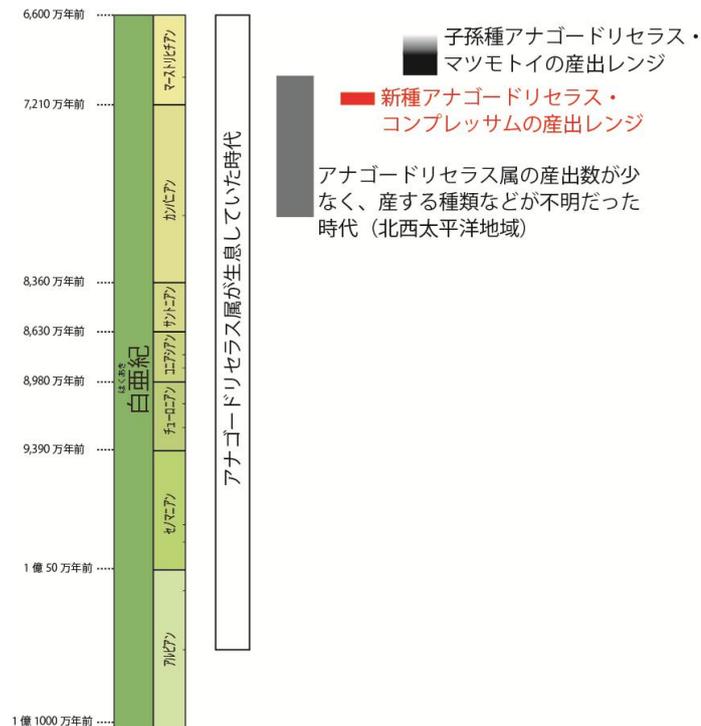


図3. アナゴードリセラ属各種の産出レンジ

## 論文の情報

**論文名** A new species of *Anagaudryceras* (Ammonoidea, Gaudryceratidae) from the lowest Maastrichtian of Hokkaido, Japan [北海道産最下部マーストリヒチアン期（白亜紀末期）のアナゴードリセラ属（アンモナイト亜目，ゴードリセラス科）の一新種]

**論文著者** Yasunari SHIGETA（重田康成 国立科学博物館研究主幹），Tomohiro NISHIMURA（西村智弘 穂別博物館学芸員）

**掲載雑誌** Paleontological Research, vol.18, no.2. p. 176-185.

（日本古生物学会欧文誌パレオントロジカル・リサーチ 第18号，第2集，176-185頁）

## お問い合わせ先

むかわ町立穂別博物館 学芸員 西村 智弘（にしむら ともひろ）

TEL: 0145-45-3141 FAX: 0145-45-3141 E-mail: tnishimura@town.mukawa.lg.jp